

## 宮崎市児童プールの今後のあり方について

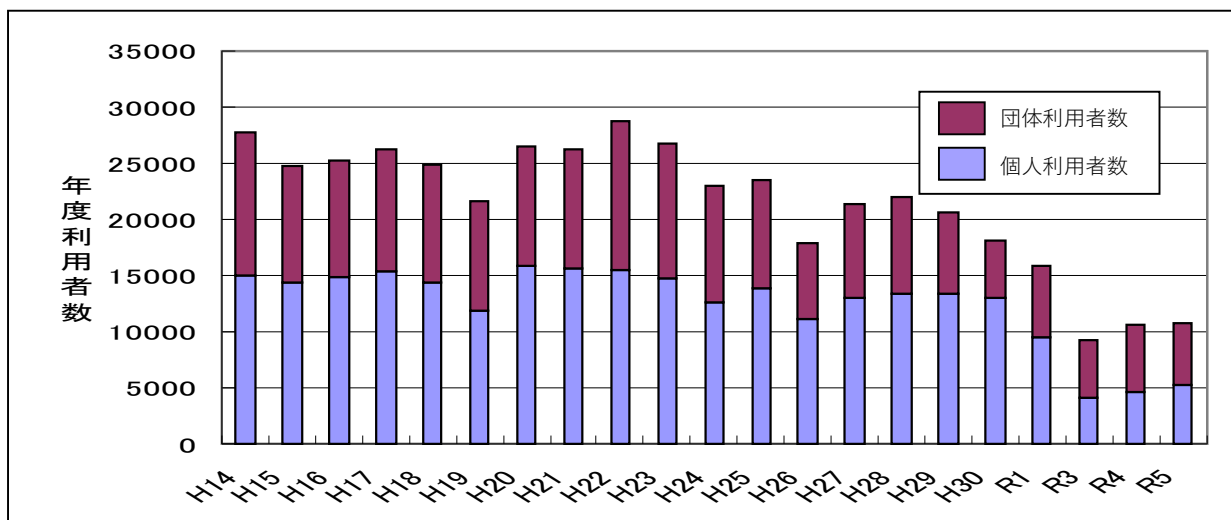
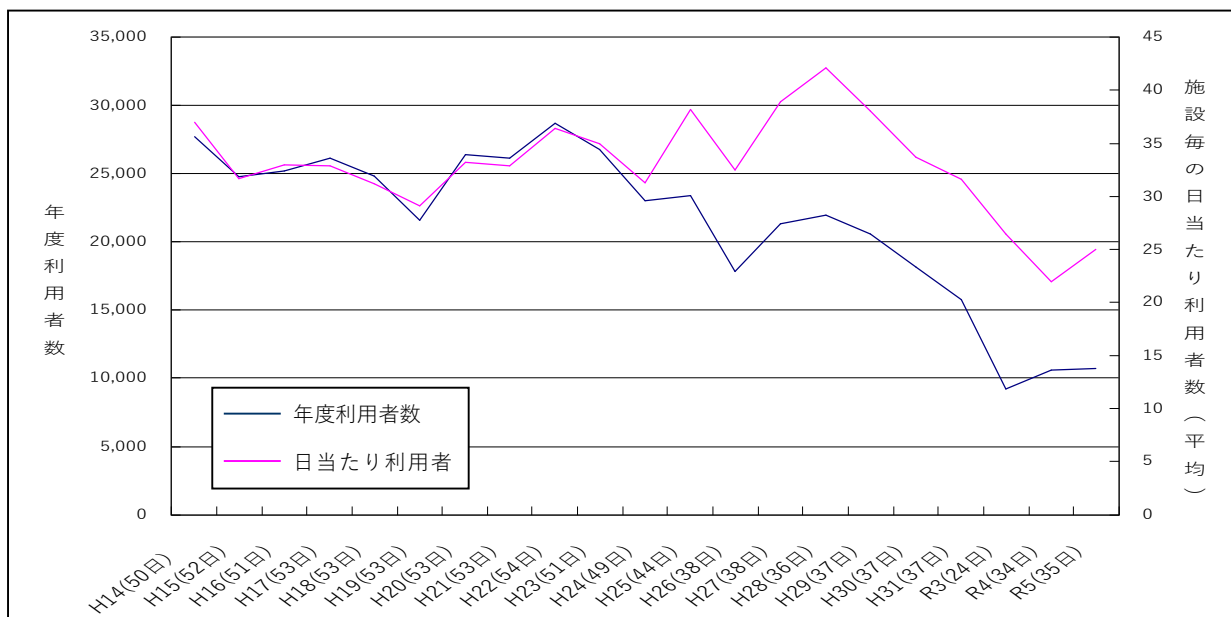
## 1 現 状

現在、市内12箇所で開設している児童プールは、ほとんどの施設で築40年を超えており、老朽化が進んでいることや利用者数も年々減少傾向にあることから、R4施設評価では、木花児童プール以外の11施設は「継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。」という条件付きでの「継続」となった。

## 【参考】

木花児童プールは木花公民館に隣接しており、木花公民館の建替えによる敷地の有効活用を図りたいという地元の意向を考慮して「廃止」という評価結果となった。

設置数	12箇所
築年数	築41年～55年。跡江児童プールは、築15年。
対象者	3歳以上～小学4年生（未就学児は保護者同伴）
開設期間 (R5)	令和5年7月11日～8月24日（開設日数 概ね35日）
開設時間	午前10時～午後4時まで（正午～午後1時は休憩）
利用人数 (R5)	延べ10,690名（個人5,494名、団体5,196名）、1施設日当たり25名
登録者数 (R5)	個人2,142名、52団体（保育園、幼稚園、児童クラブ、放課後等デイサービス）



## 2 課題

### ① 新型コロナウイルス感染拡大前から利用者が減少し続けている。

- ・延べ利用者数は、H22年度が一番多く28,685名だったが、R5年度はその4割以下の10,690名となっている。
- ・1施設日当たり利用者数は、H28年度は41名だったが、それ以降年々減少し、R5年度は25名だった。新型コロナウイルス前から団体、個人ともに減少傾向にあった。

### ② 施設の老朽化が進んでおり、今後、多額の修繕費用が見込まれる。

- ・運営に係る費用（1シーズン）は、1施設130万円程度かかる。  
※人件費、光熱水費、消耗品・医薬剤費、簡易修繕など
- ・修繕に係る費用（10年以内）は、1施設800万円程度かかる。  
※塗装塗り直し（約9年に1回）、トイレ洋式化、フェンス、更衣室など
- ・10年間の費用負担は、約1億900万円と推計される。  
(運営費130万円×10年+修繕費800万円)×12箇所 = 約1億900万円

### ③ 利用期間が夏季のみの約1か月半と限定的である。

- ・夏季のみの利用となるため、約1か月半しか開設しない。

### ④ 利用者が対象人口の約1割と限定的である。

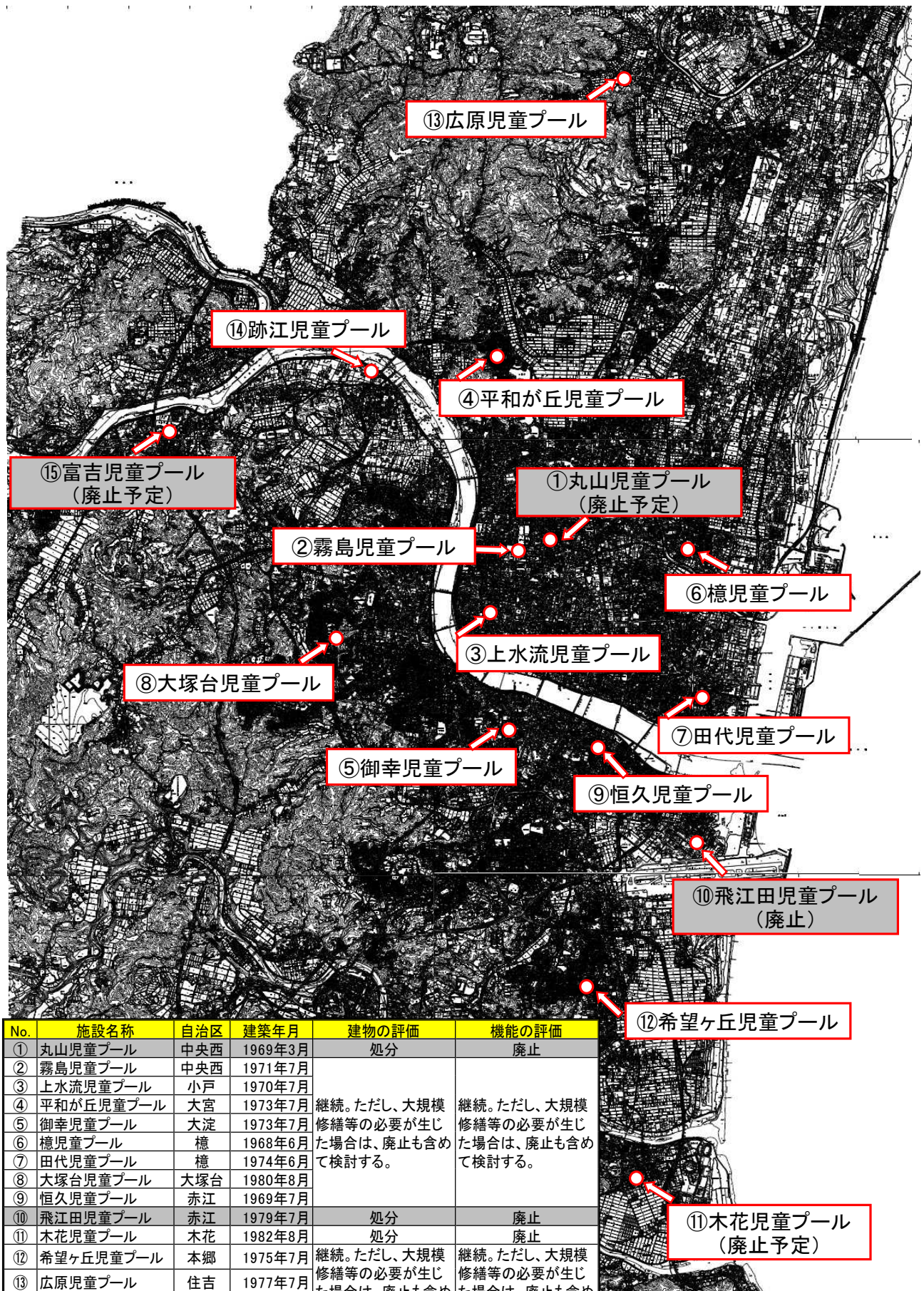
- ・旧市域のみに設置しており、跡江児童プールと霧島児童プール以外は駐車場がない。
- ・登録者数は、個人が2,142名、団体が52団体であり、3歳～10歳の人口28,672名（R5.9.1現在）の約1割が利用していると推察する。

### ⑤ 監視員の人員確保が困難であり、高齢化が進んでいる。

- ・監視員を募集してもなかなか人員が集まらず、経験者も高齢化が進んでおり、R5監視員の平均年齢は72.1歳（最高83歳、最低60歳）である。

## 3 今後の検討【計画推進部会】

- 児童プールの今後の方向性について



No.	施設名称	自治区	建築年月	建物の評価	機能の評価
①	丸山児童プール	中央西	1969年3月	処分	廃止
②	霧島児童プール	中央西	1971年7月	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。
③	上水流児童プール	小戸	1970年7月		
④	平和が丘児童プール	大宮	1973年7月		
⑤	御幸児童プール	大淀	1973年7月		
⑥	櫛児童プール	櫛	1968年6月		
⑦	田代児童プール	櫛	1974年6月		
⑧	大塚台児童プール	大塚台	1980年8月		
⑨	恒久児童プール	赤江	1969年7月	処分	廃止
⑩	飛江田児童プール	赤江	1979年7月		
⑪	木花児童プール	木花	1982年8月	処分	廃止
⑫	希望ヶ丘児童プール	本郷	1975年7月	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。
⑬	広原児童プール	住吉	1977年7月		
⑭	跡江児童プール	生目	2008年3月		
⑮	富吉児童プール	生目	1979年12月	処分	廃止

この地図は、宮崎市現況図を使用したものである。